

## 総合的な利用メニューの充実の評価に向けた取りまとめ

総合的な利用メニューの充実において実施することとされていた事項について、取組の概要を以下のとおり取りまとめた。

### 1. 登山道・自然観察路の充実

#### (1) 基本計画等の策定

##### ①登山道の現況把握調査 H17(参考資料 1-3 P3)

- ・大台ヶ原周回線歩道（西大台）では利用影響（洗堀、複線化、裸地化、ゴミ、外来種の侵入等）が確認された。木和田大台ヶ原線歩道及び筏場大台ヶ原線歩道では、荒廃はほとんど確認されなかった。

##### ②西大台利用調整地区における歩道現況調査 H17～H20（参考資料 1-3 P4）

- ・洗堀箇所が確認された。主な原因は雨水だと思われる。また、歩道踏み外しによると思われる複線箇所が確認された。その他、主な滞留場所で裸地化が確認された。

##### ③西大台地区歩道現況調査 H17～H20(参考資料 1-3 P5)

- ・周回線歩道の解説標識等について表示内容の検討を行った。

#### (2) 整備の実施

##### 周回線歩道解説標識の改修 H18（参考資料 1-3 P5）

- ・平成 18 年度に内容の更新が必要なもの、老朽化したものを対象に計 9 基を改修した。

### 2. キャンプ指定地の設置

#### (1) 候補地の検討、選定

##### キャンプ指定地に係わる調査 H17（参考資料 1-3 P9）

- ・8 調査地をトイレからの距離、静けさ、下層植生への影響等の観点で比較したが、環境保全の面から指定は好ましくない、質の高い自然体験のために指定は必要である、という 2 つの意見があり、キャンプ指定地について確定していない。

### 3. 山上駐車場の周辺の活用 H16 (参考資料 1-3 P12)

新しい利用のあり方推進計画策定時、社会実験に伴い山上駐車場に生じる空きスペースを活用し、地域文化体験イベントや大台ヶ原の自然を知るイベントを実施する構想があったが、

しかし、社会実験が実施されなかったため、当該イベントも実施されなかった。

### 4. 自然解説・自然体験プログラムの充実

#### (1) 基礎条件の把握

##### ①自然体験プログラム、自然観察会の現状把握 H16～H20(参考資料 1-3 P13)

- ・大台ヶ原周辺では、上北山村による自然体験イベントや「山岳ガイドクラブ・北山いこら」等による、地域におけるガイド等の活動が展開している。

##### ②自然体験プログラム等に関する意向調査 H16、H18～H20(参考資料 1-3 P14)

- ・西大台の入山者を対象に、ガイドに対する意向調査を行った。
- ・ガイドを利用するとした場合の、支払ってもよい料金(利用者一人当たり)については、2,000円以内が最も多く3,000円以上払ってもよいという人は少なかった。
- ・大台ヶ原でガイドを利用するとした場合の希望については、「自然について基本的な解説をしてくれる初心者向けのガイド」を希望する人が37.3%と最も多かった。

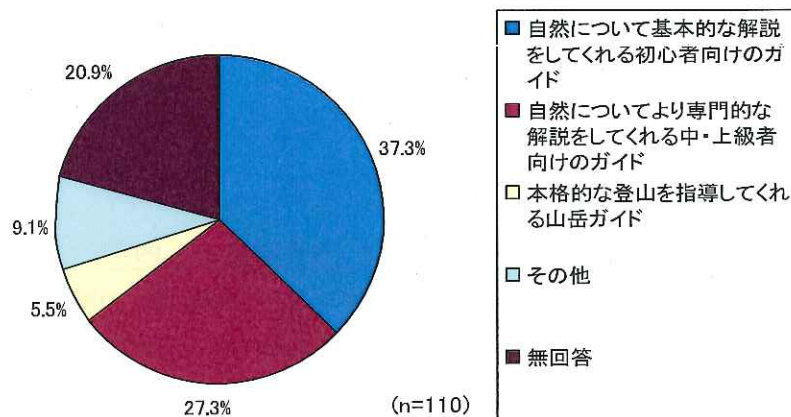


図1：ガイド内容に対する意向

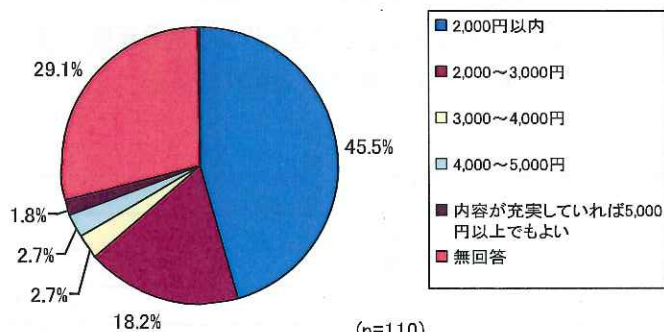


図2：ガイド料金に対する意向 (n=110)

③自然観察会の開催 H17～H20(参考資料 1-3 P28)

・アクティブレンジャー等による自然観察会を開催した。満足度は、H18年度で「とても楽しい」が49%、H19年度では38.6%となっており、両年とも高評価を得ている。

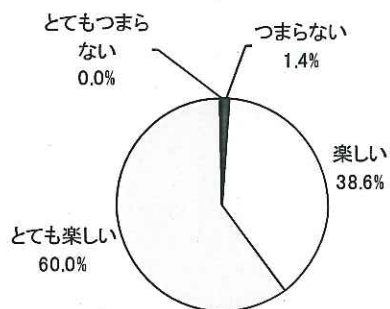


図3：自然観察会の満足度（平成19年度）

(2) 社会実験連携事業の実施と検証

・新しい利用のあり方推進計画策定時に、より質の高い利用体験を提供するため、各種イベントツアーを提供する構想があったが、社会実験未実施のため、実施しなかった。

5. 情報提供・情報発信の充実

(1) 情報発信の充実

ホームページによる情報発信 H16～H20(参考資料 1-3 P35)

- ・平成16年度より「大台ヶ原自然再生推進ホームページ」を開設してきた。随時、各種委員会情報や自然体験プログラムなどの各種イベント情報、奈良交通バスダイヤ改正情報などを更新した。
- ・平成20年度よりホームページをリニューアルし、「吉野熊野国立公園 大台ヶ原」を公開している。

(2) 情報提供・発信に係る現況調査と課題の整理

ホームページのアクセス状況 H17～H19 (参考資料 1-3 P35)

・ホームページのアクセス数は増加傾向にある。

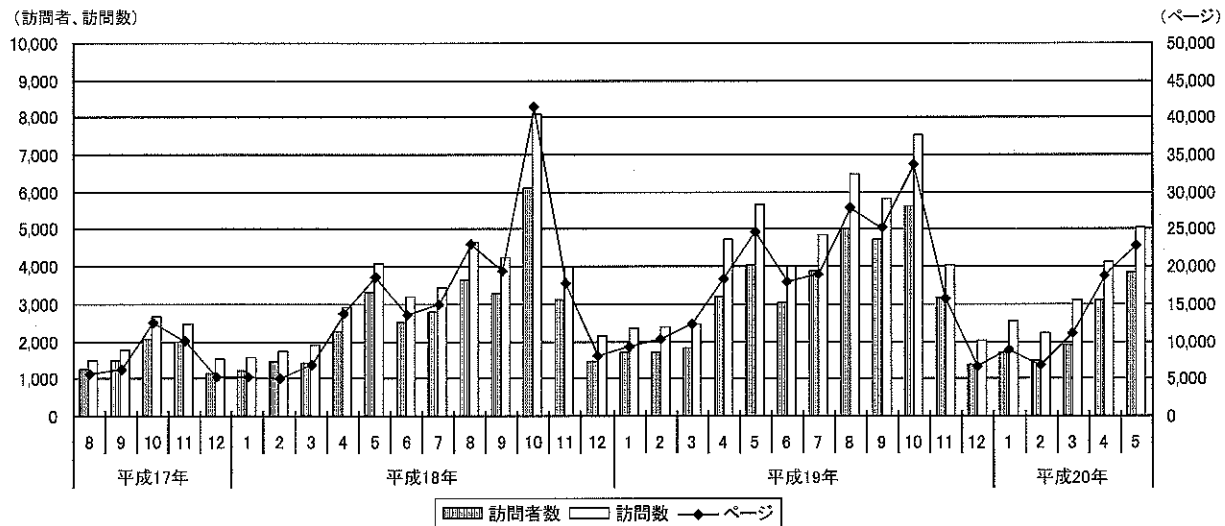


図4：ホームページのアクセス状況

## 6. ビジターセンター機能の充実

### (1) 機能整理

#### ビジターセンター展示の改修を実施 H18

- ・H18年度には、既設展示物の更新と自然再生に向けた取組みを紹介する新規展示を整備した。



図5：展示内容